

初めてのオンライン学生祭を経験して

学生祭実行委員長 藤澤 実優

副委員長 太田 颯汰

令和3年度の学生祭は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、昨年と同様に地域の方々に来校していただくことができなくなりました。そのため、地域の方々に本校のことを知っていただきたいという思いから、初めてオンラインでの開催に挑戦しました。今年のテーマは「煌めく個性 輝く未来 ~広げよう地域の輪~」です。例年とは違う開催方法だからこそ、一人ひとりの個性を活かして企画・運営していきたい、今は全ての人がある先の見えない状況にあるため、医療従事者を目指している私たちが、学生祭を通して地域の方々に元気や活気を与えたい、という意味が込められています。

学生祭には、「看護助産学校を公開し、地域社会、患者様、病院職員の方々との交流を図る」「学生が運営することにより、主体性と協調性を育む」という2つのねらいがあります。制限のあるこの状況下においても、昨年出来なかった学校の公開を今年は実現させようと、様々なコンテンツを考えました。

初めての取り組みなので、全てが1からのスタートで多くの壁に直面しました。しかし、いつでも親身に相談に乗ってくださった先生方、共に学生祭を作り上げてくれた各グループリーダーを中心とした学生全員の協力のおかげで、オンラインでの学生祭を完成させることができました。この経験から、行事を作り上げていくことの難しさ、完成した時の達成感や喜び、協力することの大切さ、新しいことに挑戦することの素晴らしさを感じることができました。この経験を活かして、様々なことに挑戦し、壁を乗り越えながら、立派な看護師となれるよう学業に励んでいきます。是非、本校のホームページで、オンライン学生祭をご視聴いただければと思います。

